

教科	国語	単位数	2単位	学科・学年・コース	普通科・3年・普通コース
使用教科書	『国語必携 パーフェクト演習』三訂版 尚文出版				

1. 学習の到達目標

- ① 日本語の知識を広め、語彙を増やしコミュニケーション能力の向上を図る。
- ② 文章を書くための基礎的な知識を定着させ、自己表現力を育成する。
- ③ 古典の作品についておおよその知識を広める。(教養や常識としての古典文学の理解)
- ④ ことばや表現に関する興味、知識、教養の涵養を図る。

2. 学習方法 (授業の進め方)

- ①最初の授業で授業の進め方、学習方法、評価方法等について説明する。
- ②学習計画にそって『国語必携 パーフェクト演習』を使用して演習を行い、小テスト等を通して学習内容の定着を図る。
- ③図書館を利用した調べ学習を取り入れ、辞書及び便覧活用の定着を図る。

3. 提出課題等について

- ①『国語必携 パーフェクト演習』を主な提出物とし、授業への取り組み状況等を確認する。
- ②その他、授業や家庭学習で使用したノート・ファイル等。

4. 評価基準・評価方法

下表の4つの観点を踏まえ、提出物、定期考査、小テスト、その他課題等を総合的に評価する。

関心・意欲・態度	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	知識・理解
国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりしているか。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じて、筋道を立てて適切に文章を書いているか。	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりしているか。	表現と理解に役立てるための音声、文法表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けているか。

5. 学習の計画

- ※『国語必携 パーフェクト演習』を使用して国語常識や国語表現の演習・整理・確認を行う。
- ※「基礎編」・「対策編」・「表現編」・「実用編」において国語力の充実と自己表現力の育成をめざす。

学期	月	指導内容・学習目標	評価の観点				配当時間
			意欲・態度	話す・聞く	読む・書く	知識・理解	
	4	オリエンテーション	○				1
		総合問題 (第1編基礎編 演習1~5回) 基本的な漢字、読みの書き取り、同音異字、同訓異字、文学史	○		○	○	2

		小テスト					
一 学 期	5	総合問題〈第1編基礎編 演習6～10回〉 漢字の読み、書き取り、誤字訂正、文学史 整理1, 2, 3〈チェックページ〉 小テスト 【一学期中間テスト】(5月)	○		○	○	7
	6	総合問題〈第2編発展編演習1回～5回〉 難読語、同音異義語、反対語、ことわざ、慣用 句、四字熟語、月の異名、文学史 小テスト 総合問題〈第2編発展編演習6回～10回〉 四字熟語、ことわざ、難読語、SPI、文学史 小テスト 整理1, 2, 3〈チェックページ〉 【一学期期末テスト】(6月)	○		○	○	10
	7	総合問題〈第3編実践編演習1回～5回〉 難読語、同音異義語、四字熟語、漢字の書き取 り、SPI、公務員試験、文学史 小テスト	○		○	○	6
二 学 期	9	総合問題〈第3編実践編演習6回～10回〉 漢字の読み、反対語、同音異義語、四字熟語、 ことわざ、慣用句、語の読みと関連語、国語常 識、SPI 整序問題、国語常識 整理1, 2, 3〈チェックページ〉 小テスト	○	○	○	○	10
	10	【二学期中間考査】 (第4編表現編演習1回～4回) 表記の基礎、表現の基礎、原稿用紙の使い方、 書き方の基本 作文テーマ解説1 ①あなたの高校生活・②これ からの心構え	○		○	○	8
	11	(第4編表現編演習5回～6回) 作文を書く「あなたの高校生活」「これからの 心構え」 作文テーマ解説2 ③あなたのセールスポイン ト・④当社(本校)を志望した理由 【二学期期末考査】(11月)	○		○	○	8
	12	(第4編表現編演習演習7～8) 作文を書く「あなたのセールスポイント・当社 (本校)を志望した理由 整理1 チェックページ覚えておきたい基本事 項(口語文法・敬語・スピーチのしかた)	○	○	○	○	8

三 学 期	1	(第5編実用編演習1~3確認問題) 敬語、手紙文の書き方・封筒の書き方 【3期末考査】	○		○	○	5
	2	(第5編実用編 演習演習4~6) 電話応対、履歴書の書き方、面接試験を受ける	○	○	○	○	5